



令和6年度
日本ビクター・JVCケンウッド退職者の会
第22回総会議案書



・瀧口亮介とその仲間たち
いけいけGO!GO! これぞコンボジャズ
2023. 7. 15 元気シャワー全開

会場:横浜ハマボール・イアス 7階
令和5年(2023年)10月24日(火)

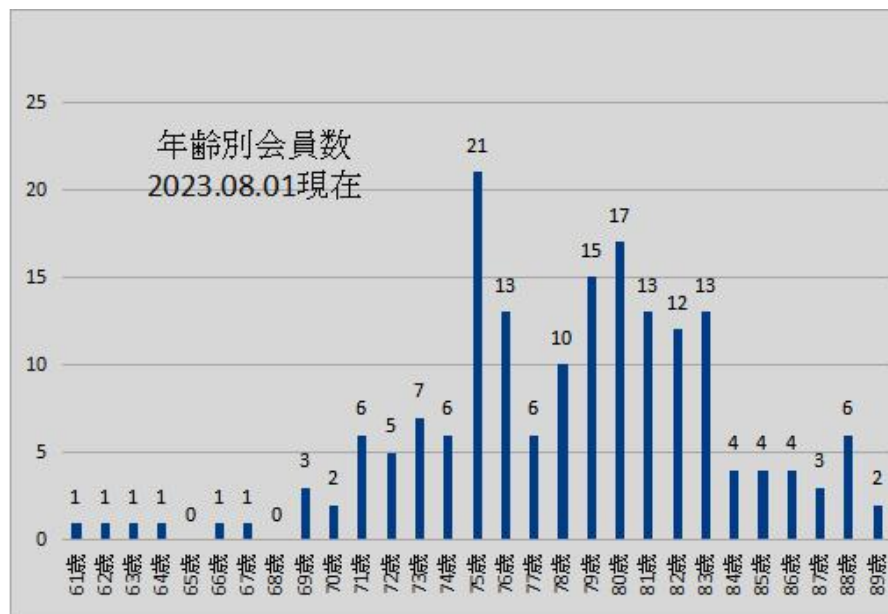
議案書目次

【報告】

報告 1	令和 5 年度	活動報告	・・・・ P 1 ～ 2
報告 2	令和 5 年度	会計収支決算報告	・・・・ P 2 ～ 3
報告 3	令和 5 年度	会計監査報告	・・・・ P 3

【議案】

第 1 号議案	令和 6 年度	活動方針に関する件	・・・・ P 4 ～ 7
第 2 号議案	令和 6 年度	予算案に関する件	・・・・ P 8
その他			



報告1 令和5年度活動報告

1. この1年を振り返って

◆ 長いことコロナ禍の影響を受けてシニアクラブの活動にも制約を受けてきました。

この新型コロナもようやく世間では一定の落ち着きを見せてきて、今年（2023年）2月11日（土）に第21回総会を対面形式で開催することができました。過去2年連続で書面審議で総会を開催しなければならなかったことを思うと、ようやく正常に戻りつつあると感じました。総会は例年10月に開催しており、年明けに時期をずらしての開催はまだ完全にもとに戻った状態とは言えませんでした。それでも40人もの参加を得ることができ、総会後の国立演芸場における観劇、日比谷サローでの懇親会と交流を深めることができました。

◆ 新型コロナは5月に2類から5類に移行して、世間におけるコロナ発症数の把握が難しくなりました。しかし国の方針として人々の行動を制約するよりも経済活動を優先させるためか、マスクの制限も大幅に緩和され、人・物の動きを活発化させようとする中で、シニアクラブとしても積極的に活動を再開させるべく務めました。具体的な内容は第22回総会開催案内と共に9月に郵送した「令和5年度活動記録」をご覧ください。

開催した行事は第21回総会を含めて10回ありました。右QRコード参照願います。実績としてはそれなりの開催回数となりましたが、年間の活動が均等に配分されたとはいえ、活動年度最後の7月になって3回の行事を開催するような状況となりました。2月に開催した総会には40名もの会員が集まったので、他の企画にも多くの人に参加することを期待していたのですが、参加者数はそれほど多くはなかったのが残念です。



◆ 今年のNHK大河ドラマのテーマは「どうする家康」で、物語はいよいよ佳境に入ってきているところです。毎月開催しているシニアクラブオンライン会合でもテーマはもっぱら「江戸時代」となりました。徳川幕府の系図を見て徳川15代将軍の経歴を学び、国立公文書館資料「天下大変」を通して江戸時代に起きた様々な天災や出来事を眺めました。更に歌川広重の「東海道53次」浮世絵を通して当時の旅人の様子や各宿場の風景、人間模様などを眺めました。付随して、当時使われていた「変体仮名」解読にも挑戦してみました。これは一朝一夕に行くものではなく、成果はこれから出てくるかもしれません。

コロナ禍を機に始めたオンライン会合です。当初はいろいろな顔ぶれが集まりましたが、最近参加者が毎回限定されてきているようで、一度でも参加した人は勿論、もっと多くの人に参加してもらい新たなテーマの提案も得ながら活発に活動を続けたいところです。

◆ シニアクラブは組織内の活動に限らず、上部団体である地方JAMシニアクラブの活動にも参加しています。当シニアクラブの役員は地方JAMシニアクラブの会長や幹事として地域活動のリード役も担っています。さらにそれぞれの地域でJAMだけではなく、多くの組織が結集した退職者連合も組織されています。毎年9月には全国から多くの参加者を得て全国集会も開催され、そのような場にも参加しています。私たちと同様に、上部団体の活動はコロナ禍の影響を受けてここ数年は控えられていました。しかし、漸く活動が活発化してきました。会員の皆様も上部団体活動に積極的に参加されることを期待しています。

一方で、大高幹事が地元、練馬で開催している手作りジャズライブの会には200名近い人が集まりました。これにはシニアクラブも協賛として名を連ねましたが、大高幹事の日頃の地域活動の成果であり、シニアクラブは縦横幅の広いテーマで推進したいと考えます。

2. 会員情報

◆ 令和5年（2023年）8月1日現在の会員数は183名で、この1年で2名の新規加入がありました。昨年のこの報告では187名だったので4名減となります。

表紙裏の目次ページに会員数に関するグラフを載せています。上が今年8月1日現在の会員の年齢構成です。これはデータのある174人の分布で、平均年齢が78.8歳となっていますが、75歳以上の後期高齢者（あまり好きな言葉ではありませんが、）が全体の8割ほどを占めていることとなります。60歳代の会員は9名、86歳以上の終身会員は15名となっています。

会員数推移のグラフもご覧ください。現在の会員数はシニアクラブが発足して丸5年経った頃と同じになっています。15年前の当時、平均年齢はまだ60歳代で、「一人が一人を誘えば組織は倍増」の掛け声で会員が積極的に知人・友人を誘って会員数が増えていた時代です。

会員の多くが後期高齢者となった現在、誘う相手も同様の年代となっており、会員数の伸びが期待できません。毎年のことですが、これからの組織拡大に向けて取り組みが重要です。

幸いなことにこの1年で60代で仕事はまだ現役と言う人の加入もありました。

すべてをコロナのせいにしてはならないでしょうが、組織拡大の取り組みには力を注いでいくことができませんでした。今後改めてシニアクラブの意義を伝え、理解を求める活動を進めていく必要があります。

◆ 令和5年 8月1日現在の地区別会員数は以下の通りです。（カッコ内は昨年からの変動）
神奈川 87（-1）、東京・埼玉 27（-1）、千葉 26（-1）、茨城 35（±0）、
群馬・他 8（-1）

報告の最後に、この1年間にお亡くなりになられた会員、元会員のご冥福をお祈りいたします。

（東京支部） 深野 岩雄様 享年88歳 御命日 令和4年12月29日

（千葉支部） 原 充 様 享年76歳 御命日 令和5年 6月10日

（東京支部） 廣川 洋平様 享年85歳 御命日 令和5年 7月18日

高齢や健康を理由に退会後

（千葉支部） 岩田 芳秀様 享年89歳 御命日 令和5年 7月10日

【合掌】

◆ 令和5年度役員 以下の通りです。

《会長》 高石 勝巳 《副会長》 宮本 信 《事務局長》 田代 周

《幹事》 井上 純一 大高 光蔵 榎本 享二 菊池 正範 宮田 宏美

《会計監査》 飯田 耕治郎 白岩 仙一

=====

報告2 令和5年度会計収支決算報告

◆ 右ページの会計収支決算書をご確認ください。ここに若干のコメントを記載します。

・ 収入の部で年会費の未納者が複数名いましたが、それぞれ健康上の理由などから退会されて、当初目論見に比べて会員数の減少があり、わずかながら未達となりました。

・ 2月に第21回総会を開催しましたが、3年ぶりの対面総会ということもあり、総会後も国立演芸場での舞台鑑賞、日比谷サローでの懇親会と一日フルとなる密度の濃いスケジュールで、過去の総会に比べて多めの予算措置で対応できました。

・ 幹事会は5回開催されましたが、内2回はオンラインで実施しました。そのため、交通費の出費が抑えられましたが、行事費全体ではほぼ計画通りとなりました。

・ 活動費はいまだコロナの影響もあって本部・支部の企画事業への参加者数が増えず予算に対する出費が抑えられました。しかし、そのような中で会員とのコミュニケーションを保つべくシニアクラブ便りや Online 会合報告などの印刷が多かったために情宣費は若干ながら予算オーバーとなりました。

・ 全体の活動を見渡すと昨年度よりも10万円ほど出費が増え、コロナ禍で縮小した活動は以前に戻りつつあるといえます。結果的に昨年度に比べて繰越金が10万円ほど減少しました。

令和5年度会計 収支決算報告

令和4年8月1日～5年7月31日

科目		計画	実績	予算対比	備考
収入	会費(振込)	342,000	336,000	98.2%	振り込み会員
	会費(現金)	10,000	14,000	140.0%	直接支払い 前年度未払い分もここに含む
	活動助成費	500,000	500,000	100.0%	労組本部から
	その他				
	収入小計	852,000	850,000	99.8%	
	前年度繰越金	624,112	624,112	100.0%	
収入の部合計		1,476,112	1,474,112	99.9%	
行事費	総会	300,000	284,075	94.7%	総会参加者交通費および支出補助
	幹事会	150,000	132,770	88.5%	交通費等
	上部団体加盟費	101,000	97,150	96.2%	5地方JAMに会員数に応じ支払い、振込手数料含む
	その他		-		
活動費	対外行事参加費	50,000	41,220	82.4%	地方JAMシニアクラブ総会参加費、懇談会費、交通費
	本部活動費	80,000	38,760	48.5%	役員行動費(3役会、本部作業時の交通費等)
	本部・支部行事補助	200,000	47,956	24.0%	円覚寺、ゴルフ他、活動記録に記載の通り
	情宣費	175,000	183,962	105.1%	活動報告カラー版作成費・HP維持管理費・zoom利用料
	その他		-		
管理費	事務用品	5,000	-	0.0%	
	会費振込手数料	31,000	28,099	90.6%	
	その他	2,000	1,720	86.0%	ゆうちょ振込用紙作成
通信費	郵送料	150,000	105,667	70.4%	メール便サービス利用料、宅配便、切手・葉書代
	その他		-		
支出小計		1,244,000	961,379	77.3%	
予備費(残額)		232,112	512,733		収入の部合計－支出小計(残額は翌年度へ繰越)
支出の部合計		1,476,112	1,474,112		

=====

報告3 令和5年度会計監査報告

会計監査報告書

私たちは、日本ビクター・JVCケンウッド退職者の会(JVCKWシニアクラブ)規約第12条に基づき、令和5年7月31日現在の財務諸表を厳正に審査しました。

その結果、会計処理がすべて適正に表示されていることを確認し、これを認めます。

令和5年9月7日

日本ビクター・JVCケンウッド退職者の会(JVCKWシニアクラブ)

会計監査 飯田 耕治郎 印

会計監査 白岩 仙一 印

第1号議案 令和6年度 活動方針に関する件

令和6年度活動方針

1. 私たちを取り巻く情勢

▼ 今年の夏は猛暑日の連続でした。日本国内はもとより、世界中が猛暑に襲われて、国連のグテーレス事務総長はこれを“地球沸騰”と表現していました。

ギリシャやスペインなどの南ヨーロッパでは自然発生による山火事で観光や農業への大きな打撃を受けました。さらに、ハワイマウイ島で発生した山火事では、町が焼き尽くされて一時は千人以上もの人と連絡が取れないとの情報が流れていました。

一方で、大雨による被害も世界から伝わってきました。海面水温の上昇は雨雲を発達させます。7月には北京を始めとして中国各地で洪水被害が発生しました。想定外の大雨で治水事業が及ばなかったこととなります。これはある意味で天災なのかもしれませんが、開発に余念なく上物だけを見て足元を充分に見てこなかった結果でもあります。

9月には北アフリカのリビアでダム決壊により8千人とも1万人ともいう人が亡くなったとの報道がありました。補修管理面で指摘されながらも手が付けられなかったダムが大量の雨によって決壊したとのこと。国内で対立勢力が争う中、インフラ整備への手が回らず被害を大きくしてしまいました。これはまさしく人災です。

▼ リビアの国内対立から引き起こされた人災以上に未だ終わりが見えぬロシアのウクライナ侵攻は正に空前絶後の人災と断ずるべきものです。

一方的にロシアに攻められていたウクライナも世界からの支援で反撃が開始され、これからも攻防は長く続いていきそうです。この戦争でもダムの決壊がありました。

たとえ戦争と言えどもルールがあり、捕虜の虐待等人権に関わる問題やダム、原発などの重要インフラへの攻撃はルール違反です。スポーツの世界では審判がいますが、戦争における審判はどこが担うのでしょうか。これは当然、国連が担うものだと思います。

しかし、現在の国連はこのような事態に全く無力です。

国連憲章の前文には「善良な隣人として平和と安全を維持…」と記されているが、国連のリーダーたるべき常任理事国自身が侵略の当事者である限り、審判の存在などありえません。

1945年10月の発足時51カ国であった国連は現在は193カ国が加盟して全世界を網羅する組織となり、大国も小国も一票の投票権を持っています。民主主義の原則でそれは当然としても、「ジャイアン」「スネ夫」「のび太」の3人がそろえば、評決の行方はどうなるのでしょうか。世界は力づくの様相を呈して、ルールもマナーもない方向に突き進んでいるかのようです。

▼ 世界が戦いの渦の中にある現在、何が正しく何が嘘なのかますます見分けがつき難しくなっています。生成AIが発達し、人はこれを便利に利用できるようになりました。一方でネット上にはこれを利用したフェイク情報があふれる状態となっています。フェイクで世の中を攪乱し、自分の思うように世論を操作できる時代となってしまいました。



今年5月にG7広島サミットが開催され、その中で「広島AIプロセス」の創設が決定しました。今年、日本はG7の議長国であり、日本がリードして年内にも「信頼できるAIの実現に向けて国際ルール作りを進める」ことになっています。これがどのようなものになるのかわかりませんが、生成AIを創る側だけではなく、それを利用する立場にある人が正しいルールを守らなければなりません。

私たちの周りでは相変わらずオレオレ詐欺が発生しています。詐欺師が電話をかけた時、「風邪をひいて声が少し変になっている・・・」などと言う必要はなくなってきています。家族の誰かがその声の情報を一瞬でも取られてしまえば、フェイクボイス生成技術で声の特徴を捉えた生の声そのものになってしまいます。一枚の写真があれば、その人が動く姿すらも創り出すことができます。このような時代に、いかにしてフェイクと見破るか、また個人情報を護るのか、それぞれが強い認識をもって対処していかなければなりません。右QRコードはNHK番組のもので

参考としてご覧ください。 <https://www.nhk.or.jp/minplus/0016/topic060.html>



▼ 今年、中国杭州においてアジア大会が開催されました。オリンピックを筆頭にして、このようなスポーツの大会が開催できるのは平和の象徴とも言うべきものです。

その中で、自国の選手たちが活躍する姿は感動ものと言えるでしょう。トラック競技やフィールド協議では、誰が一番早くゴールしたか、誰が高く飛んだか、あるいは遠くに投げたかで勝負の結果は明白です。一方で、体操演技などはしっかりした判定基準があるにしても見る目によって差が生ずることがあります。またサッカーなどのボール競技でも審判の判定に偏りがあれば結果が違ってしまいます。力が拮抗する相手との勝負では選手自身はじめ観客も熱が入り、往々にしてそれが爆発しルールを無視するような行動に発展してしまうこともあります。スポーツにはルールがあるとともにマナーもあります。選手自身や観客のマナーの低さは他人を思う心の欠如であり、文明度の低さそのものを現しています。しかし、このような場面に遭遇する機会が増えているように感じるのは、近年の国際間の軋みが増しているからなのではないでしょうか。

▼ MLB大谷翔平選手が今年のアメリカンリーグのホームラン王となりました。肘の故障で最後の数試合に出場できずになってしまいましたが、開幕当初から夏までの間のホームラン量産で他の選手の追隨を赦しませんでした。敵地に赴いても“オオタニコール”が湧くほどの人気でしたが、彼の実力は当然として人柄の良さ、マナーの良さまで誰もが認めるが故のコールであったのでしょうか。他人をリスペクトする気持ちも人一倍あるようです。同じ日本人として彼の活躍は誇りに思うところです。

この一年、日本のスポーツ界を眺めてみると、野球がWBCで優勝したのをはじめ、サッカー、バスケット、ラグビー、バレーなど様々なスポーツにおいて世界レベルで戦える力を発揮し、観戦する私達に大いに夢と希望を与えてくれています。

大谷選手は別格としてそれぞれ選手個人の力量が上がってきていることに加え、優れたチームプレイがあつての世界レベルと言えるでしょう。

国際間の軋みのみならず、私たちの身の回りを眺めてみると不安要素が増す中、私たち一人ひとり、人を思いやる気持ちを大切に、一人孤立することなくお互いの力を合わせて行動することが大切です。

2. 活動の基調

前段で見てきたように、今の世界は守るべきルール、示すべきマナーの衰退が感じられる時代に私たちほどのように対処するべきなのかを考えたいと思います。

◆ 何が真実か見抜く力を備えよう

オレオレ詐欺の被害者の典型が、一人で判断して行動してしまうことです。詐欺電話がかかってきて、後先も考えずに電話で指示されたまま銀行に赴きATMを操作してしまう。その時、動作に不審を感じた銀行の行員が話しかけても操作は止めず、結局は被害にあってしまう例も多いようです。一瞬思いとどまって誰かに相談していれば被害にあわなかったものの、普段から人と話す機会が少ないとそれもできません。家族や友人などと世間話をしていれば、世の中でこんな事件が発生しているなどの知識も得ることができています。テレビ、新聞などを通して世の中の状況を知ること、そして人との交流を極力増やすことが大切です。

◆ いつまでも動ける身体を維持しよう

“サルコペニア”という言葉をご存じですか。サルコは筋肉、ペニアは減少する、という意味で身体を支える筋肉の減少は健康寿命に大きな影響を及ぼします。特に足のふくらはぎの筋肉が加齢とともに減少すると活動が一気に制約されてしまいます。

椅子からの立ち上がりや歩行に支障をきたすようになって、ひいては外出もせず、「寝たきり老人」とならずとも家に「居たきり老人」となってしまう可能性があります。そうすると人との接触機会も減って、一気に老けてしまいます。

歳と共に食が細くなり、栄養が身体に行き渡らなくなって、運動もほとんどしないと、



まさにサルコペニアとなってしまいます。

左のQRコード参照。栄養が大前提である旨、3分ほどで説明しています。

<https://youtu.be/Gce9MIvA71I>

サルコペニアの(筋力低下)悪循環



◆ シニアクラブ活動に参加しよう

シニアクラブはお互いの交流を深める会合や、家で「居たきり老人」とならないための行事を開催していきます。

8月には浅草ニューオリンズフェスティバルへの参加行事を実施していますが、11月にはゴルフ交流会、鎌倉円覚寺の座禅&鎌倉散策を今年も予定しています。

今年度は新たな趣向として12月に「男の料理教室」企画も予定しています。料理に関心を持って栄養に気を遣いサルコペニアとにならないよう予防にも気を配りましょう。その他、昨年の実績も参考にしながら企画を進めたいと思っています。会員の皆さまからの提案も大いにお寄せください。



尚、オンライン会合もテーマを決めて進めてきました。いろいろな話題をご提案ください。外出機会が少なくなっている方も、オンラインで大いに会話を楽しみましょう。

◆ 組織拡大への取り組み

シニアクラブ会員数は毎年減少しています。高齢化が進み健康上の理由から退会する人もあり、自然減はやむを得ないところです。しかし、先に報告している通り、60歳代の

会員も9名います。今までどうしても平均年齢78歳を中心とした活動が主体となってしまうことは見直しが必要と考えます。

定年延長、再雇用といくつになっても仕事をする人が増えているなか、“シニアクラブは退職してから”と考える人も多いことと思いますが、このように考える人達にもシニアクラブ活動の意義を伝え理解を求め加入を促していかねばなりません。

これには同世代の会員からの声掛けが効果があると考えます。
まずはヤングシニアが参加できるような企画を考えていくことが必要で、そのためには当該会員の意見を積極的に取り入れられる機会を設定したいと考えています。

JAM本部の提唱で20数年前にスタートしたシニアクラブ構想です。目的は退職後も、自分が長く勤めた会社に自信と誇りを持ち、今までの仲間との繋がりを保ちながら、「イキイキとシニアライフを過ごそう」というものでした。

これに賛同して、JAM傘下の多くの単組および地方組織でシニアクラブが構成されてきました。組織の継続は重要なテーマです。会員の高齢化で組織を老化させることなく、常に新たな会員加入を促進しなければなりません。

労組幹部との話し合いを通じ、会社退職者へのアプローチもできるよう努め、新規会員の加入促進を進めたいと思います。

◆ 上部組織との連携について

令和5年度活動報告の中でも述べていますが、シニアクラブ活動は縦横の面のつながりを持ちながら活動を進めています。

☆ 国はマイナンバーカードの取得推進事業を強力に押し進めてきました。そして2兆円ほどの予算を組んで金融機関や健康保険証への紐づけも進めてきました。

健康保険証は2024年秋にはマイナカードに完全移行の予定です。しかし、トラブルが多い中、この移行時期の見直しを求める署名活動が全国組織の「日本退職者連合」で行われ、JAMシニアクラブも協力しました。今後もこのような社会活動が展開される際には当クラブとしても上部組織との連携のもとに協力していきます。

☆ 昨年の参議院選挙で、JAMは基幹労連と協力し「村田きょうこ」議員を誕生させました。次の2025年参議院選挙ではJAMは組織内候補として「郡山りょう」氏の推薦を決定しています。詳細が下記、JAMホームページに紹介されているので是非確認してください。皆様のご支援をよろしく願いいたします。

私たちシニアクラブ活動は世の中の一端に過ぎないかもしれませんが、上部組織の活動にも参画して大きな活動に展開させていくことが大切です。



関連ホームページは次の通りです。是非アクセスしてみてください。

連合	https://www.jtuc-rengo.or.jp/
JAM	http://www.jam-union.or.jp/
村田きょうこ	https://murata-kyoko.com/
JAMシニアクラブ	http://jam-senior.club/
日本退職者連合	https://tr.jtuc-rengo.jp/

第2号議案 令和6年度 予算に関する件

令和6年度予算(案)

(R5. 8. 1~6. 7. 31)

科目		令和5年度 実績	令和6年度 計画	備 考
収入	会費(振込)	336,000	310,000	会員数180-免除15-直納10=155 @2,000円
	会費(現金)	14,000	20,000	直納(10名分)
	活動助成費	500,000	500,000	労組本部から
	その他	-	-	
	収入小計	850,000	830,000	
	前年度繰越金	624,112	512,733	
収入の部合計		1,474,112	1,342,733	
行事費	総会	284,075	200,000	交通費、懇親会補助 前年度は国立演芸場観劇も含む
	幹事会	132,770	200,000	交通費等、年5回開催を予定
	上部団体加盟費	97,150	95,000	地方JAMシニアクラブ会費 + 振込手数料等
	その他	-	-	
活動費	対外行事参加費	41,220	60,000	地方JAMシニアクラブ総会参加費、懇談会費、交通費
	本部活動費	38,760	150,000	本部役員行動費(交通費等) 組織強化対策も含む
	本部・支部行事補助	47,956	100,000	本部および支部企画行事への補助
	情宣費	183,962	180,000	活動報告カラー版作成費・HP維持管理費
	その他	-	-	
	活動予備費	-	-	
管理費	事務用品	-	5,000	
	会費振込手数料	28,099	28,000	振込手数料 203円 or 152円 or 0円
	その他	1,720		ゆうちょ振込用紙作成費
通信費	郵送料	105,667	120,000	メール便サービス利用料、宅配便、葉書代
	その他			
支出小計		961,379	1,138,000	
予備費(残額)		512,733	204,733	収入の部合計-支出小計 (残額は翌年度へ繰越)
支出の部合計		1,474,112	1,342,733	

【予算案作成のポイント】

1. 収入の部の内、会費欄は振り込みと現金と分けてあるが、現金納入はもっぱら役員を対象と考える。
2. 総会費は参加者の交通費・懇親会費補助とし、会場を移動してのイベントはないため前年度より予算減額。
3. 幹事会費は交通費等を計上。前年度はonline開催が2回あったができるだけ対面の会議としていく。
4. 上部団体加盟費は会員数に応じ5地方JAMに支払う。@500円(群馬は@1,000円)
5. 対外行事参加費は上部組織などとの交流を高めるために増額。
6. 本部活動費には組織強化のための取り組みも含める。
7. 本部・支部行事費補助は従来から活動促進を期待しての予算措置であったが、実績に則って減額。
8. 情宣費の内zoom契約は解除する。Online会合は継続開催とするが、時間制限のある無料方式で実施。
9. 会費振込手数料は203円、152円、0円(オンライン振り込み)と会員の対応により様々。実績を見ながらの予測額。